

記録

幼稚園の幼児指導要録について

文部省ではこの程別紙写のように、新教育にもとづく幼稚園の幼児指導要録の様式を決定し、三月三日付を以て、各都道府県教育委員会、都道府県知事、五大市教育委員会並びに国立大学長あて通達した。

寫

文初初第二〇七號

昭和二六年三月三日

都道府県教育委員会

都道府県知事

五大市教育委員会

殿

文部省初等中等教育局長

辻 田 力

幼稚園の指導要録について(通達)

このたび、かねて研究中の幼稚園の指導要録の様式が、別

紙のとおりまともりましたので、参考のためお送りいたします。

地方ならびに幼稚園は、この様式を参考として、おのおの実情に応じて、決定されるよう望みます。

なお、幼児指導要録の趣旨とその取扱については、別紙を参照願います。

寫

文初初第二〇七號

昭和二六年三月三日

教育部又は学藝学部を置く
国立大 学 長 殿

文部省初等中等教育局長

辻 田 力

幼稚園の指導要録について

このことについて、別紙写のとおり各都道府県教育委員会、都道府県知事・五大市教育委員会に通知いたしましたから、御通知いたします。

幼児指導要録の趣旨とその取扱について

1. 幼児指導要録の趣旨

幼児指導要録は次のような趣旨でつくられたものである

- 1 おおのこの幼児の成長発達の経過を、全体的、継続的に記録して、幼稚園における幼児の指導を、より適切にするための原簿である
- 2 記録すべき事項は、幼稚園教育の目的や目標から考えて、特に必要と認められる最少限のものを選んでいる
- 3 項目は、小学校教育との連関をじゆうぶん考慮し、かつ幼稚園の全体的発達に必要なもののみを選んでいる
- 4 記録の方法は、できうるかぎり客観的に、しかも簡単に、かつ容易に記録できるようになっている

2. 幼児指導要録の扱い

幼児指導要録の扱いは、学校教育法施行規則（第15条及び第36条）に明らかであるが、次の点は特に留意する必要がある

- 1 園長は、幼児が他に転園し、あるいは小学校に入学した場合は、幼児指導要録を転園先の園長または入学先の校長に、必ず送付しなければならない
- 2 園長は、幼児が転園あるいは小学校に入学した場合は、その幼児の指導要録の抄本を作製しておかなければならない
- 3 抄本には、少なくとも次の事項を記載することが望ましい

● A、幼児について

- | | |
|-----------|---------------------|
| a 氏 名 | f 入園年月日 |
| b 性 別 | g 修了または転退園 |
| c 生 年 月 日 | h 転園先または進学先の学校名と所在地 |
| d 現 在 所 | i 出欠の状況 |
| e 本 籍 地 | j その他必要な事項 |

B、保護者について

- | | |
|-----------|----------|
| a 氏 名 | d 本 籍 地 |
| b 現 年 月 日 | c 本人との関係 |
| c 現 在 所 | |

- 4 幼児指導要録またはその抄本は、10年以上保存しておかなければならない

幼 児 指 導 要 録

幼稚園名	年度	学年初めの 幼児の年齢	園長氏名印	担任職氏名印				
在籍の記録	ふりがなつき 氏名		性別	男・女				
	生年月日							
	現在所		電話または 連絡方法					
	本籍地							
	保護者名		本人との関係					
	入園年月日							
	修了又は転退園							
生育と家庭の記録	生育地		主として養育した人					
	発育の状況							
	病気の記録							
	入園前に入所した 保育所其他所の施設							
	家庭の記録	事項	氏名	性別	続柄	生年月日	職業	学歴
父母								
兄弟姉妹								
その他の人々								

出欠の記録	年度												
	学期	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
	出席日数												
	欠席日数												
欠席の理由													

標準検査の記録	検査の名称	実施の年月日	年令	知能指数または偏差値	実施者氏名

事	年度						
	評価	たい	とき	まれ	たい	とき	まれ
身体状況	1. 皮膚が清潔で色つやがよい	—	—	—	—	—	—
	2. 元気がよい	—	—	—	—	—	—
	3. 姿勢がよい	—	—	—	—	—	—
	4. 運動や動作の調節ができる	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—

健康の習慣	1. おちついてたべる	—	—	—	—	—	—
	2. 手をあらう	—	—	—	—	—	—
	3. はなをきれいにしている	—	—	—	—	—	—
	4. 手や物を口に入れない	—	—	—	—	—	—
	5. そとで遊ぶ	—	—	—	—	—	—
	6. よく休息する	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—

し ご と の 習 慣	1. しごとのしかたをよくまもる	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	2. しごとをやりとげる	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	3. 自分からすすんでやる	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	4. 材料や道具をわけあつて使う	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	5. 物や道具をたいせつにする	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	6. くふうしてやる	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	7.	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	8.	┌──┐	┌──┐	┌──┐
社 会 生 活	1. ひとと仲よく遊ぶ	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	2. ひとのものをだいじにする	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	3. 順番をよく守る	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	4. ひとのめいわくにならないよ うに静かにする	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	5. つつしみのある動作や態度が とれる	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	6. 親切である	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	7. 遊びやしごとが公正である	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	8. 責任をもつて分担したしごと をする	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	9. ひとに助力する	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	10.	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	11.	┌──┐	┌──┐	┌──┐
自 然	1. 身近かな事物について知りた がる	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	2. 注意して物を見ようとする	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	3. よろこんで動植物を世話する	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	4.	┌──┐	┌──┐	┌──┐
	5.	┌──┐	┌──┐	┌──┐

言	1. 喜んで自分の経験を話す	—	—	—
	2. 聞いた話をひとに話せる	—	—	—
	3. 絵を見てひとに話せる	—	—	—
	4. 喜んで話を聞く	—	—	—
	5. ひとといつしよに話を聞く	—	—	—
	6. 語いが増している	—	—	—
語	7.	—	—	—
	8.	—	—	—
音楽・リズム	1. 気持のままに喜んで歌う	—	—	—
	2. 気持の儘に喜んで楽器をひく	—	—	—
	3. 気持のままに喜んで動きのリズムを表現する	—	—	—
	4. 喜んで音楽を聞く	—	—	—
	5.	—	—	—
	6.	—	—	—
映画・製作	1. 喜んで絵をかいたり物を作つたりする	—	—	—
	2. 絵をかいたり物を作つたりして自分の気持を表現する	—	—	—
	3. 形や色や模様に関心をもつ	—	—	—
	4. 身近にある造形品に関心をもつ	—	—	—
	5.	—	—	—
	6.	—	—	—
年度				
全導の経過として の指				

幼児指導要録の記録のしかた

(1) 幼稚園名その他と在籍の記録について

- A, 幼稚園名, 年度, 学年初めの幼児の年齢, 園長氏名印, 担任職氏名印, 氏名, 生年月日, 現住所, 本籍地, 保護者名, 本人との関係欄は, それぞれ正確に記入すること。
- B, 性別欄は, 該当事項を○で囲むこと。
- C, 電話または連絡方法欄には, 電話番号(呼出の場合はその旨) 電話がない場合は, これに代る方法で家庭に連絡することができる, 最もよい方法を記入すること。
- D, 入園年月日欄には, 幼児がその幼稚園に入園した年月日を記入すること。再入園または転園してきた幼児の場合は, その旨をかつこ内に註記すること。
- E, 修了または転退園欄には, 幼児が修了または転退園した年月日と, 修了, 転退園の別を記入すること。

(2) 生育と家庭の記録について

- A, 生育地欄には, 幼児の出生した地と生育した地とを, できうるかぎり詳細に記入すること。
- B, 主として養育した人欄には, 幼児をおもに養育してきた人の, 幼児との続柄を記入すること。幼児が他の家庭で養育された場合は, その旨をかつこ内に記入すること。
- C, 発育の状況欄には, 幼児の指導に関係ある発育の一般的な状態を記入すること。(病気については, 次の欄に記入すること。)
- D, 病気の記録欄には, 幼児がかかったおもな病気の名称, その期間, 経過の大要, 心身に及ぼした影響等を記入すること。
- E, 入園前に入所した保育所その他施設欄には, 幼児が幼稚園に入園する以前に, 入所(児童福祉施設)したことがある施設名とその期間を記入すること。
- F, 家族の記録欄には, それぞれ正確に記入し, 同居している者は全部記入すること。

(3) 出欠の記録について

- A, 年度欄には, 昭和○○年とその年の年度を記入すること。
- B, 欠席の理由欄には, 欠席のおもな理由とその理由に伴つて欠席した期間等を記入すること。

(4) 標準検査の記録について

- A, 検査の名称欄には, 知能検査, 性格検査等の検査の種類と, その具体的な名称を記入すること。
- B, 実施の年月日, 年齢, 知能指数または偏差値, 実施者氏名欄は, それぞれ正確に記入すること。

(5) 評価について

- A, 評価の観点は, 幼児がそのよりよい成長発達を遂げるために, 必要でありかつ望ましい状態や態度や能力を示した機会が多寡にこれを置いた。
- B, 「たいてい」は, 望ましい状態なり態度なり能力なりを, つねに, または比較的

く示した場合、該当箇所に○印をつける。

- C、「ときどき」は、望ましい状態なり態度なり能力なりを、ときどき示した場合、該当箇所に○印をつける。
- D、「まれに」は、望ましい状態なり態度なり能力なりを、まるつきり示さない場合または全然示さない場合、該当箇所に○印をつける。
- E、望ましい状態なり態度なり能力なりの内容についてはその幼児の年齢に応じて発達に応じて考慮する必要がある。

(6) 身体の状態

- A、「皮膚が清潔で色つやがよい」は、皮膚が、きれいで、さえていて光沢があるかどうかについてみる。
- B、「元気がよい」は、活気があるかどうかすぐにつかれないかどうかについてみる。
- C、「姿勢がよい」は、立つているときも、すわつているときも、歩いているときも、頭を下げていたり身体が曲つていたりしないで、正しい姿勢を保つていることができるかどうかについてみる。
- D、「運動や動作の調節ができる」は、運動や動作の場合、よく運動機能の調節がとれていて、安定感があるかどうかについてみる。

(7) 健康の習慣

- A、「おちついてたべる」は、食事のとき、ゆつくりと静かに、よくかんでこぼさないで食べられるかどうかについてみる。
- B、「手をあらう」は、しごとや遊びのあとや食事の前によごれた手をあらうかどうかについてみる。
- C、「はなをきれいにしている」は、はなをたらしさないか、またはたらししてもすぐきれいかめるかどうかについてみる。
- D、「手や物を口に入れない」は、手や指や入れる必要のないものを口に入れるかどうかについてみる。
- E、「そとで遊ぶ」は、そとで遊ばなければならないとき、好んでそとで遊ぶかどうかについてみる。
- F、「よく休息する」は、休息しなければならないとき、よく休息することができるかどうかについてみる。

(8) しごとの習慣

- A、「しごとのしかたをよくまもる」は、しごとの順序方法について、指導したことをよくわきまえて、そのとおりやれるかどうかについてみる。
- B、「しごとをやりとげる」は、自分ですべきしごとを、おわりまでやりとげられるかどうかについてみる。
- C、「自分からすすんでやる」は、ひとからさしずをうけないでも自分からすすんでやることができるかどうかについてみる。
- D、「材料や道具をわけあつてつかう」は、しごとをするときそれに使われる材料や道具を独占しないで、互に分けあつて使えるかどうかについてみる。

E, 「材料や道具をたいせつにする」は、しごとに使う材料や道具を、よく注意してこわさないように、またむだづかいをしないで、ていねいに使えるかどうかについてみる。

F, 「くふうしてやる」は、しごとをするとき、創造力を發揮してやるかどうかについてみる。

(8) 社会生活

A, 「ひとと仲よく遊ぶ」は、友達同志仲よく遊べるかについてみる。

B, 「ひとのものをだいじにする」は、ひとの持物や権利を尊重することができるかどうかについてみる。

C, 「順番をよく守る」は、きめられた順番を守つて、いつも自分だけ先になろうとしないかどうかについてみる。

D, 「ひとのめいわくにならないように静かにする」は、ひとに迷惑をかけないように必要に応じて静かにすることができるかどうかについてみる。

E, 「つつしみのある動作や態度がとれる」は、ひとに対して礼をうしなわないような動作や態度がとれるかどうかについてみる。

F, 「親切である」は、すべてのひとに対して、思いやりがあるかどうかについてみる。

G, 「遊びやしごとが公正である」は、遊びやしごとするとき、ひとをごまかしたりしないで、公明正大にやることができるかどうかについてみる。

H, 「責任をもつて分担したしごとをする」は、グループでするしごとのうち、自分の分担したしごとを責任をもつてやるかどうかについてみる。

I, 「ひとに助力する」は、ひとから求められたとき、あるいはひとの困つているのを見たときすすんで手助けすることができるかどうかについてみる。

(10) 自然

A, 「身近かな事物について知りたがる」は、身近かな自然物や自然現象等に好奇心をもち、それらについて知りたがるかどうかについてみる。

B, 「注意して物を見ようとする」は、気をつけて物を観察しようとするかどうかについてみる。

C, 「よろこんで動植物を世話する」は、動植物の世話をすることに興味をもっているかどうかについてみる。

(11) 言語

A, 「喜んで自分の経験を話す」は、自分で経験したことをよろこんでひとに話すかどうかについてみる。

B, 「聞いた話をひとに話せる」は、ひとから聞いた話を、再びひとにわかるように話すかどうかについてみる。

C, 「絵をみてひとに話せる」は、絵の意味を理解して、それを簡単な話にして、ひとに話せるかどうかについてみる。

D, 「喜んで話を聞く」は、ひとが話している話を、興味をもつて聞くかどうかについてみる。

- E、「ひとといつしよに話を聞く」は、仲間に入つて、ひとの話を聞くことができるかどうかについてみる。
- F、「語いが増している」は、聞く語いや話す語いが、増してきているかどうかについてみる。

(12) 音楽・リズム

- A、「気持のままに喜んで歌う」は、自分の気持や考えを、思うままに喜んで歌であらわせるかどうかについてみる。
- B、「気持のままに喜んで楽器をひく」は、自分の気持や考えを、思うままに喜んで器楽であらわせるかどうかについてみる。
- C、「気持のままに喜んで動きのリズムであらわす」は、自分の気持や考えを、思うままに喜んで、動きのリズムであらわせるかどうかについてみる。
- D、「喜んで音楽を聞く」は、音楽を聞くことに、興味を持つかどうかについてみる。

(13) 絵画・製作

- A、「喜んで絵をかいたり物をつくつたりする」は、絵をかいたり、紙や粘土で物をつくつたりすることに興味を持つかどうかについてみる。
- B、「絵をかいたり物をつくつたりして自分の気持を表現する」は、自分の気持や考えを絵や物であらわせるかどうかについてみる。
- C、「形や色や模様に関心をもつ」は、形や色や模様に対して、関心をもつかどうかについてみる。
- D、「身近な造形品に関心をもつ」は、身のまわりにあるいろいろな品物の好ききらい、よいかわるいかということに関心をもつかどうかについてみる。

(14) 全体としての指導の経過

幼児を全体としてみた場合の、幼児の進歩の状態を指導の経過について記入する。

御 知 ら せ

本年は幼稚園教育の始祖、フリードリヒ・ウイールヘルム、アウグスト・フレーベルの死後百年に当りますので、(一八五二年六月二十一日マリエンタール幼稚園内にて永眠)各所でフレイベル祭が挙行される予定です。尙協会におきましても、全世界の保育教育の諸雑誌と共に特に本誌六月号(第五〇巻第六号)を

フレイベル特集號

といたしまして、各方面専門御研究の權威の方々に御執筆ねがい、この行事にふさわしい充実した内容のものを御手許にお届けする計画で御座います。御期待下さいませ。

日本幼稚園協會